

真空管プリメインアンプ

TRV-A88

使用説明書

平成 14年12月20日 第1版



真空管及び回路電圧のバラツキについて (クレーム対象外)

- 1, 12AX7及びKT88真空管の**カソード電流値**の左右のバラツキは10%程度は問題ありません。
- 2, **真空管のヒーターの明るさ**が左右違うものがありますが露出している部分は性能には問題ありませんので左右違っていても差し使いありません。
- 3, 回路図中の電圧はあくまでも**参考値**ですので上下10%程度は問題ありません。
- 4, 電源スイッチをオンにしたときに、12AX7の真空管が**パッと明るく発光する**場合がありますが、冷えている場合に真空管ヒーターの抵抗値が高いためで、性能には全く問題ありません。

Tri

株式会社 トライオード

〒343-0026 埼玉県越谷市北越谷1-23-1
TEL: 048-978-7109
FAX: 048-978-7309
Eメール: info@triode.co.jp

ご注意（感電について）

このアンプは高電圧（約400Vdc）を使用するため、感電されないよう細心の注意が必要です。絶対に裏蓋を開けたりしないようお願い致します。
なお裏蓋を開けた後、内部接触による人体の損傷や火傷などの責任は負えませんので予め御了承ください。

その他の注意事項

使用時は高温になるため、必ず付属の真空管ボンネットを御使用下さい。特にお子様の手の届かない場所に設置して下さい。

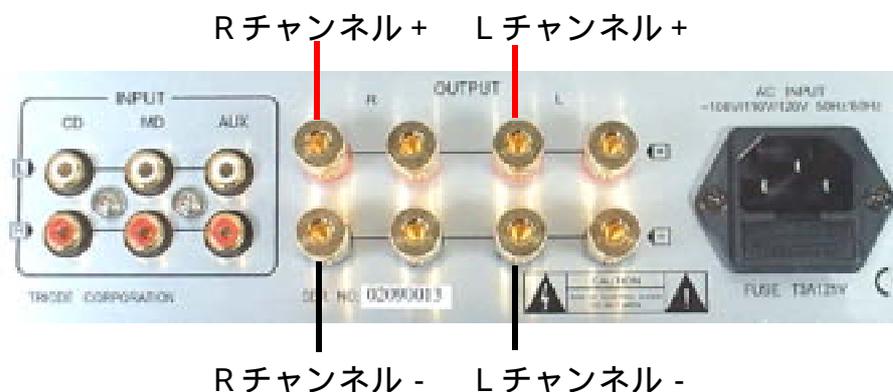
保証について

本製品の裏蓋を開け、改造などをされた時点で保証の対象外となりますので御注意下さい。この場合の修理は全て実費とさせていただきます。
ただしバイアスの調整は除きます。

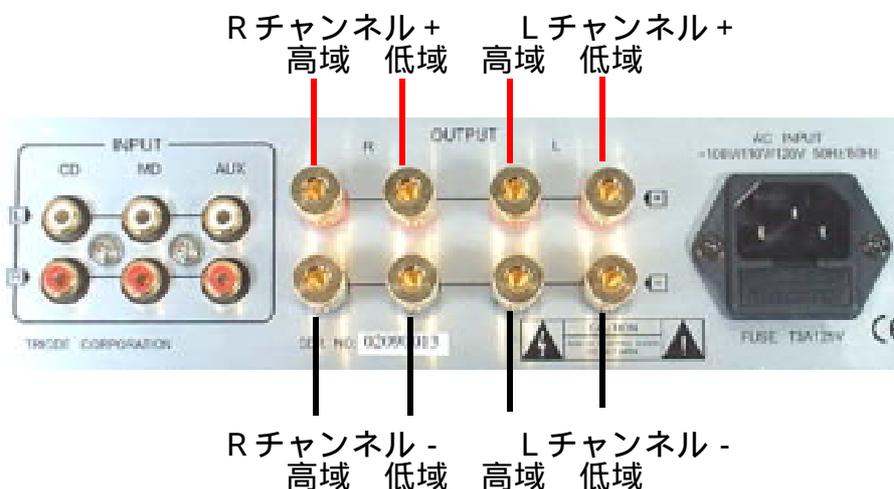
接続と使用方法

- 1) 真空管カバーを外し中のクッション材を出し付属の電源ケーブルを接続します。
- 2) 入力ソース（CD、DVD、MD等のアナログ出力）をINPUT 1, 2, 3ターミナルに接続します。レコード再生には別途**フォノイコライザー**が必要です。
- 3) OUTPUTターミナルにスピーカーケーブルを接続します。

a) 左右チャンネルとも通常の接続をする場合



b) バイワイヤー接続をする場合



- 4) 接続が終わりましたら電源を入れ、ボリュームを調整してお楽しみ下さい。

バイアス調整をする場合

経験のない方は部品を破損する場合がありますのでご遠慮下さい

(簡単なテスターを準備します)

- 1) 電源オフの状態真空管カバーを装着したままひっくり返す。
- 2) 裏蓋をマイナスドライバーで開ける。
- 3) 基板上の左右チャンネルの半固定ボリュームを指でそれぞれ左一杯に回す。



- 4) テスターの黒棒をスピーカターミナルのマイナス端子に接続する。



- 5) テスターのレンジを直流 (DC) 1 V 又から 10 V 位までのレンジに合わせる。
- 6) 電源を入れ LED が点灯している事を確認し 5 分ほどウォームアップする。
- 7) 左チャンネルから調整しますので、テスターの赤棒を V 3 の 8 番ピンにあてて電圧を見ながら、半固定ボリューム VR 3 を少しずつ右に回しながら 0.65 V に合わせる。



- 8) 次に右チャンネルの調整しますので、テスターの赤棒を V 4 の 8 番ピンにあてて電圧を見ながら、半固定ボリューム VR 4 を少しずつ右に回しながら 0.65 V に合わせる。



9) 上記の調整を左右3回ほど繰り返し微調整する。

10) 調整が終わりましたら裏蓋を閉じます。

なお上記バイアスは環境により変動致しますので1年に一度くらいは再度調整すると良いでしょう。

真空管のバイアスは絶えず変動しています、余り神経質にならなくて結構です。
電流値が0.65Vの10%程度の範囲であれば全く問題ありません。

TRV-A88仕様

ここに記載されている値は正常に動作している場合の期待値です。
よって保証値ではありません。

最大出力 : 12W + 12W
S/N比 : 90dB以上
歪率 : 0.1%以下
入力感度 : 0.7V (at 100k)
出力端子 : 4 - 8
周波数 : 20Hz ~ 40kHz +/-1dB

スペアパーツ

KT88真空管(中国製)	1ペア	¥16,000
12AX7A真空管(中国製)	1本	¥1,800
12AX7A真空管(チェコJJ製)	1本	¥2,800
サイドウッド	1ペア	¥5,000



オプションのサイドウッド装着時